施策評価シート（令和2年度実績）

施策名 28 観光振興により知名度を高め来訪者を増やす

		施策コード	040028
1. 施策の体系と担当課			
第5次総合計画	将来像	4 ひとと地域の資源を生かし にぎわいを生み出すまち	
主管課	都市政策部 商工観光課		
関係課			

2. 施策の目標	
10年後の目標	
自然や歴史的魅力にあふれた市内の観光情報が全国に発信され、まちの知名度が高まり多くの観光客が訪れている。	
10年後の目標に向かっての主な取組み	
市の取組み	
<p>○地域資源を活用し、観光施設の整備やイベント・特産品・お土産の開拓・創作に取り組む。</p> <p>○飲食・サービス業の新規参入や既存店舗のPRを支援する。</p> <p>○無料Wi-Fiスポットの整備やICTツールを活用した海外向け観光情報の発信などにより、外国人観光客の誘致をめざす。</p> <p>○観光施設間の連携や観光振興リーダー育成、市と地域との共同の取組み、観光施設や事業者の自発的な取組み促進のための調整及び支援をする。</p> <p>○観光客の分析を行い、効果的な観光振興・PRを実施する。</p> <p>○泉州地域近畿自然歩道※の活用・PRにより、山手地域の活性化に取り組む。</p> <p>○貝塚市観光協会の組織力強化や、貝塚市観光案内所の機能強化及び貝塚観光ボランティアガイド協会との連携強化に取り組む。</p> <p>○近隣市町と連携し、効果的に観光PRを推進する。</p> <p>※泉州地域近畿自然歩道：和泉市の槇尾山から和泉葛城山を経て岬町の飯盛山までの尾根沿いを繋ぐ自然歩道。</p>	
市民・団体・事業所等の取組み	
<p>○市民・団体等が中心となった観光イベントの実施に取り組む。</p> <p>○貝塚の良さを周知するため、SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）による情報発信など、ICTを活用した貝塚市のPRに取り組む。</p> <p>○地域の歴史の伝承者などが積極的に観光PRに取り組む。</p> <p>○貝塚観光ボランティアガイド協会などの団体は地域の歴史的遺産を生かした取組みを行う。</p> <p>○観光事業者は地域資源の掘り起こしや、特産品を利用したグルメの開発に取り組む。</p>	

3. 施策を取り巻く状況	
社会環境や法令等の変化	
<p>本市は、海や山などの自然環境に恵まれているだけでなく、水間寺、孝恩寺といった歴史的な施設や古くからのまち並みが残る願泉寺を中心とした寺内町を有し、太鼓台やだんじり祭りも行われるなど歴史や文化資源にも恵まれているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、来訪者が大幅に減少している。</p>	
新たな市民ニーズ	
<p>自然や歴史的魅力にあふれた市内の観光情報が全国に発信されることで、まちの知名度や観光地としての魅力が向上し、多くの観光客の訪問が望まれている。</p> <p>外国人観光客を受け入れるため、日本文化の周知や体制の整備が望まれている。</p>	

4. 施策にかかるコスト							
		単位	R元予算	R元決算	R2予算	R2決算	R3予算
コストの内訳	投入人員	正職員数	人	3,09	2,71	0,0	0,0
		会計年度任用職員数	人	0,0	0,0	0,0	0,0
	人件費	直接人件費	千円	20,530	16,560	3,086	3,293
		間接人件費	千円	26,530	24,085	32,810	24,198
	直接事業費	千円	168	95	26,530	44,146	32,849
間接事業費	千円	26,530	47,869	32,810	44,146	32,849	
フルコスト	千円						
財源内訳	使用料及び手数料	千円					
	国庫支出金	千円	3,846	3,846	2,982	2,982	9,131
	府支出金	千円			2,250	2,250	1,530
	市債	千円					
	その他	千円	0	1,686	335	547	335
	一般財源1（＝フルコスト－特定財源）	千円	22,684	42,337	27,243	38,367	21,853
一般財源2（＝直接事業費－特定財源）	千円	22,684	18,553	27,243	18,419	21,853	

備考

5. 施策の成果指標							
成果指標1		市内の主な観光施設への来訪者数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
万人	毎年度	170	増加	153	109	170	170
成果指標2		観光協会の会員数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
人	毎年度	100	増加	96	97	100	100
成果指標3		観光専用ホームページへのアクセス数					
単位	目標年度	目標値	指標数値の目指す方向	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
件	毎年度	25,000	増加	14,760	17,842	25,000	25,000

6. 施策を構成する事務事業ごとの評価結果（令和2年度実績）									
事務事業名	最重要指標		事業費				方向性	所見	
			人件費						
			平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度(見込)			
観光活性化事業 (商工)	市内の主な観光施設への来訪者数（観光統計調査）		32,922	24,085	24,198	32,849	成果	A：向上を図る	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内の主なイベントを中止したことにより成果は上がっていない。
	R2実績	40万人							
	最終目標値に対する達成率	23.5%	23,782	23,616	19,853		資源配分	B：現状維持	

7. 施策の事後評価	
施策指標の分析（達成状況）	来訪者数について、近年は横ばい傾向であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少した。
構成事務事業に課題はないか	ウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業を構築する必要がある。
実施主体（国・府や地域・事業所などとの役割分担）に課題はないか	まちの駅かいつかを活用した観光PRの強化、観光DMOに認定された一般社団法人KIX泉州ツーリズムビューローと市事業との役割分担を調整していく。

8. 今後の方向性
紀泉連絡会のネットワーク（貝塚市以南の4市3町と和歌山市、紀の川市、岩出市が観光分野において連携して取り組む組織）や恋人の聖地観光協会と連携し、今年度作成したグルメマップや観光周遊マップなどの相互発信を行うなど、積極的な広域連携活動により観光活性化を図る。